

Sports Promotion  
スポーツプロモーション分野

修了生の活躍

Health Promotion  
ヘルスプロモーション分野

久保田 剛さん(7 期生)  
パナソニック株式会社企業スポーツセンター 所長

上野 広治さん(9 期生)  
日本大学スポーツ科学部教授、公益財団法人日本水泳連盟副会長、  
公益財団法人日本オリンピック委員会理事

木野 彩子さん(12 期生)  
鳥取大学地域学部附属芸術文化センター 講師

田知本 遥さん(15 期生)  
公益財団法人日本オリンピック委員会スポーツ指導者海外研修員  
(英国ハートフォードシャー大学、エジンバラ大学)

村松 邦子さん(5 期生)  
株式会社ウェルネス・システム研究所代表取締役、  
公益社団法人日本プロサッカーリーグ(Jリーグ) 参与

田中 弥生さん(5 期生)  
関東学院大学栄養学部 部長・教授

高間 薫さん(13 期生)  
埼玉県高校野球連盟 専務理事 (元埼玉県高校野球連盟理事長)

坪内 美穂子さん(14 期生)  
広島国際大学医療栄養学部 准教授

スポーツウエルネス学学位プログラム博士後期課程へ進学された修了生

浅川 伸さん(スポーツプロモーション分野 3 期生)  
公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構事務局長

更科 枝里さん(ヘルスプロモーション分野 12 期生)  
オーストラリア政府認定ピラティス学位養成学校  
Pilates Commitment&Alignment(PCA) 主宰

塚尾 晶子さん(ヘルスプロモーション分野 9 期生)  
つくばウエルネスリサーチ執行役員

鬼村 優一さん(ヘルスプロモーション分野 14 期生)  
医療法人社団ゆみの ゆみのハートクリニック訪問診療部



講義室



学位論文発表会におけるポスター発表の様子

年度	修了生の主な論文タイトル	分野
平成 30 年度	オリンピックの経験から反芻する今後のオリンピズムの在り方に関する研究ー柔道選手を対象としてー	スポーツプロモーション分野
	音波による全身振動刺激が高齢者の気分、自律神経系機能、脳機能に及ぼす影響について	ヘルスプロモーション分野
令和 元年度	中学運動部活動における理想像目標設定が心理的スキル及び運動有能感に与える効果	スポーツプロモーション分野
	アウトティングの要因とプロセスの検討	ヘルスプロモーション分野
令和 2 年度	走運動と跳運動を融合するためのリズム調整能力の評価ー小学生の走り幅跳びを対象としてー	スポーツプロモーション分野
	骨盤底筋へのセルフマッサージが 腹圧性尿失禁を有する中年女性におよぼす効果	ヘルスプロモーション分野

本年度の入試日程

推薦入試(募集人員8名) 願書受付

令和3年6月15日(火)～

- 資格審査受付期間…令和3年6月8日(火)～6月12日(土)
- 入学願書受付期間…令和3年6月15日(火)～6月26日(土)
- 入学試験……………令和3年7月17日(土)
- 合格発表……………令和3年8月10日(火)
- 入学期……………令和4年4月

一般入試(募集人員 16 名) 願書受付

令和3年7月6日(火)～

- 資格審査受付期間…令和3年6月29日(火)～7月3日(土)
- 入学願書受付期間…令和3年7月6日(火)～7月17日(土)
- 入学試験……………令和3年9月4日(土)
- 合格発表……………令和3年10月1日(金)
- 入学期……………令和4年4月

大学院説明会オープンキャンパス

Zoomによるオンライン開催

※事前に申し込みが必要です。申し込みは学位プログラムHP内、申し込みフォームよりお願い致します。

令和3年

5/29<sup>±</sup> 13:30-15:50

令和3年度  
学位論文成果発表会

令和4年

2/19<sup>±</sup> 午後 (※詳細は決まり次第HPに掲載)



日本の未来を担う、スポーツと健康のプロフェッショナルへ

人間総合科学学術院人間総合科学研究群

# スポーツウエルネス学 学位プログラム 博士前期課程

## ヘルスプロモーション分野

ヘルスプロモーション領域  
ストレスマネジメント領域

## スポーツプロモーション分野

スポーツプロモーション領域  
スポーツマネジメント領域



Graduate School of  
Comprehensive Human Sciences  
Degree Programs in  
Comprehensive Human Sciences  
Master's Program in  
Sport and Wellness Promotion



## 本学位プログラムのめざすところ

少子高齢化、情報化、自由時間の増大等、社会は構造そのものをダイナミックに変化させ、それに伴い健やかな人生、豊かな交流、伸びやかな自己開発への希求から、国民生活におけるスポーツや健康の位置づけはますます大きくなってきました。当専攻は、こうした社会的要請に応えるために、主にスポーツ振興、健康づくり施策分野の現職者を対象に、スポーツと健康の社会・文化的資源の整備とともに、それらを最も有効に活用するシステムを開発し、自在に政策立案やマネジメントを展開していける高度な専門家を養成し、さらに専門家集団による我が国のスポーツ・健康の一層の発展に寄与することを目的に平成15年度に設立されました。



## 関連専門科目 (筑波地区支援教員担当)

- スポーツプロモーションとビジネス (奇数年度開講)
- 健康増進基礎論特講
- コミュニティスポーツプロモーション論特講 (偶数年度開講)
- トップアスリートのトレーニング
- 健康支援の理論と実践
- 生活機能増進法論特講
- スポーツプロモーション法制論特講 (偶数年度開講)
- トップコーチング
- 健康社会論
- ヒューマン・ケア科学概論
- スポーツの倫理と教育 (奇数年度開講)
- 生涯スポーツのトータルマネジメント
- スポーツ健康統計学特講
- 高度競技マネジメント論実習  
田嶋 幸三 客員教授 (公益財団法人 日本サッカー協会会長)
- スポーツ健康科学論Ⅰ・Ⅱ  
スポーツ、ヘルス各界で中心的に活躍されているプロフェッショナルによるトップセミナー
- スポーツ健康科学論Ⅲ  
本専攻修了生によるオムニバス形式の講義

人間総合科学学術院人間総合科学研究群

スポーツウエルネス学学位プログラム博士前期課程

Sports Promotion  
スポーツプロモーション分野

スポーツプロモーション領域

スポーツプロモーション論、スポーツイベント論を中心に、スポーツ振興の理念、目的、内容、課題と方法について検討するとともに、必要な資源とシステムの開発やスポーツによる政治、経済、文化、ビジネス等の社会的プロモーション等について教育研究します。

菊 幸一 教授  
スポーツプロモーション論特講  
スポーツプロモーション論演習  
他

高橋 義雄 准教授  
スポーツイベント論特講  
スポーツイベント論演習  
他

スポーツマネジメント領域

スポーツマネジメント論、高度競技スポーツマネジメント論を中心に、スポーツ愛好者組織とクラブマネジメント、スポーツマネジメントについて検討するとともに、国際競技力開発や普及振興のためのシステム編成とマネジメント等について教育研究します。

尾縣 貢 教授  
スポーツマネジメント論特講  
スポーツマネジメント論演習  
他

山口 香 教授  
高度競技マネジメント論特講  
高度競技マネジメント論演習  
他

安藤 梢 助教  
スポーツコーチング関連  
スポーツマネジメント関連

Health Promotion  
ヘルスプロモーション分野

ヘルスプロモーション領域

ヘルスプロモーション論、健康開発プログラム論を中心に、健康づくりのための政策課題と社会計画のデザイン、地域や学校におけるシステムの編成について検討するとともに、多様な社会的環境と生活スタイルに対応した健康開発プログラム等について教育研究します。

久野 諒也 教授  
ヘルスプロモーション論特講  
ヘルスプロモーション論演習  
他

柴田 愛 准教授  
健康開発プログラム論特講  
健康開発プログラム論演習  
他

ストレスマネジメント領域

ストレスマネジメントシステム論、コミュニティメンタルヘルス論を中心に、健康行動としてのストレスマネジメントの在り方や技法とシステム化を検討するとともに、多様化するライフスタイルやライフステージに応じたメンタルヘルスの社会的決定要因を探索し、それを改善するためのマネジメントサイクルの回し方について教育研究します。

水上 勝義 教授  
ストレスマネジメントシステム論特講  
ストレスマネジメントシステム論演習  
他

辻 大士 助教  
コミュニティメンタルヘルス論特講  
コミュニティメンタルヘルス論演習  
他

学位プログラムの基本理念

スポーツ・ヘルス プロモーション論概論

【学位プログラム共通必修科目】

Sports Promotion  
スポーツプロモーション分野

スポーツプロモーション領域

スポーツプロモーション論

スポーツイベント論

スポーツマネジメント領域

スポーツマネジメント論

高度競技マネジメント論

スポーツ振興に関する政策立案、資源開発、システム編成、組織マネジメントおよび競技力開発システム、マネジメントに関する能力の開発

Health Promotion  
ヘルスプロモーション分野

ヘルスプロモーション領域

ヘルスプロモーション論

健康開発プログラム論

ストレスマネジメント領域

ストレスマネジメントシステム論

コミュニティメンタルヘルス論

健康支援政策およびプログラム開発、ストレスマネジメントとコミュニティメンタルヘルスのシステム編成および、技法に関する能力開発

現場におけるバージョンアップ  
あるいは新規事業開発や  
新規職域開拓等

## 年間スケジュール (2学期制)

月	4月～7月	8月～9月	10月～1月	2月～3月
学期区分	春 学期	休み (夏)	秋 学期	休み (春)

※原則として週2コマ (=1コマ75分×2) の授業を10週で2単位

### ■課程修了の主なスケジュール

1 年 次	4月	入学式・オリエンテーション／春学期 授業開始
	8月～9月	休み (夏)
	10月	秋学期 授業開始／学位論文中間発表会 (運営・参加)
	2月	学位論文発表会 (運営・参加)
2 年 次	2月～3月	休み (春)
	4月	オリエンテーション／春学期 授業開始
	5月	「研究テーマ届」の提出
	8月～9月	休み (夏)
	10月	秋学期 授業開始／学位論文中間発表会 (発表)
	12月	「正式題目届」の提出
	1月	学位論文提出／口述試験
	2月	学位論文発表会 (発表)
	2月～3月	休み (春)
	3月末	学位記授与式・修了

## 特徴とカリキュラム

- スポーツ・ヘルスプロモーションの政策立案
- システム編成マネジメント能力等の開発

これまでのスポーツと健康に関する専門家養成が、個人の指導を中心とする指導者養成に主眼を置いてきたのに対して、本学位プログラムでは地域や集団・組織におけるスポーツ振興と健康づくりに重点を置き、院生個人の現職経験を生かした高度な専門的能力の開発を目指します。

### ■履修と修了

2分野・4領域制をとり、スポーツ・健康両分野にまたがる専門的能力の開発とともに院生個人の専門性を尊重して実践的な教育研究活動を重視します。課程修了には、原則として2年以上在籍し、専門・関連科目等を30単位以上修得するとともに、修士論文もしくは特定課題研究報告書を提出し合格することが求められます。修了者には、修士 (スポーツウエルネス学) の学位が授与されます。また、所定の単位を修得すると中学校・高等学校教諭専修免許状 (保健体育)、同 (保健) 養護教諭専修免許状を申請できます。(ただし、1種免許状取得資格が必要。)

授 業 時 間		
	火～金曜日	土曜日
第2時限		10:20—11:35
第3時限		11:45—13:00
第4時限		13:45—15:00
第5時限		15:10—16:25
第6時限		16:35—17:50
第7時限	18:20—19:35	18:20—19:35
第8時限	19:45—21:00	